

工事がわら版

国道22号電線共同溝PFI事業の工事に関する情報です。

【事業者】
大林・大日・東建
コンソーシアム

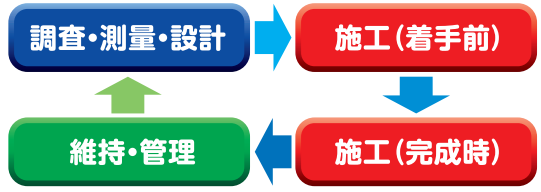
先月DXについてにご説明をさせていただきましたが、今月は具体的に建設業界そして当現場では、どのような取り組みを行っているか簡単にご説明させていただきます。

変わる働き方 大林道路のDX

大林道路では2023年4月にDXソリューション部を立ち上げ、取り組みを進めており、この現場はDX導入事例現場として取り組んでおります。



建設業界ではDX化の一つとして、BIM/CIMへの取り組み



現場では設計・施工・維持の段階で3Dモデルを生かし事故防止などの効果的な活用方法を検討しながらDX事例として取り組んでいます。

BIM/CIM(ビム/シム)とは

BIM/CIMは、計画、調査、設計段階から3Dモデルを導入し、その後の施工、維持管理においても3Dモデルを連携させることで、事業全体にわたり関係者間の情報共有を容易にするだけでなく、一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化を図ることを目的としたワークフローを指します。

高精度の地上3Dスキャン viDoc RTK rover



今後の工事予定			
工種	4月	5月	6月
電線共同溝 管路部	←————→		
歩道整備		←————→	